2026年11月5日

各　位

会　　社　　名　ザインエレクトロニクス株式会社
代表者の役職名　代表取締役社長　南　　洋　一　郎
（スタンダード・コード番号：6769）
問い合わせ先　取締役総務部長　山　本　　武　男
電　話　番　号　０３－５２１７－６６６０

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年７月21日に公表した2026年12月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．2026年12月期通期連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	6,695	13	85	107	10.19
今回発表予想（B）	8,609	13	85	107	10.19
増減額（B－A）	1,913	－	－	－	
増減率（％）	+28.6	－	－	－	
（ご参考）前期実績（2025年12月期）	4,639	△342	△403	△334	△31.32

２．修正の理由

当社グループは2027年度を目標年次とする中期経営戦略「Innovate100」を推進しております。半導体、AI/IoTソリューション等から成る事業ポートフォリオを活かしつつ、今後の経済社会においてAI活用ユースケースの適用加速に寄与する革新的なソリューションを提供し、経済社会の生産性向上に取り組み、2027年度に連結売上高100億円超の実現を目指しております。

当期通期の業績見込みにつきまして、LSI 事業については、販売については概ね当初の計画通りの進捗となる見込みですが、製造コスト等の上昇により粗利率が当初計画より悪化する見込みである一方、AIOT事業においては前期下半期より量産出荷を本格開始したスマートメーター向け製品の出荷が順調に増加し、また製造コスト増加に伴う販売価格改定の影響もあり、通期計画を上回る見込みとなりました。これらの結果、当社グループ全体としては売上高については当初計画を大きく上回る見込みですが、売上総利益についてはセールスミックスの関係で概ね当初計画水準となる見込みです。

販売費及び一般管理費については、世界初の当社DSPレス技術を活用した光半導体新製品開発等を加速させるための積極的な研究開発投資を実施しつつ、コスト削減にも努めた結果、全体としては概ね計画通りの進捗を見込んでおり、営業損益については上記理由とあわせ、当初見込みからの修正はない見込みです。また、経常損益および親会社株主に帰属する当期純損益についても、上記理由の通り修正はない見込みです。今後の事業環境を踏まえ、さらなる修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

なお、期末配当予想につきましては、1株当たり15円の従来予想からの修正はございません。

以上